

京都市北図書館だより

2025年10月発行

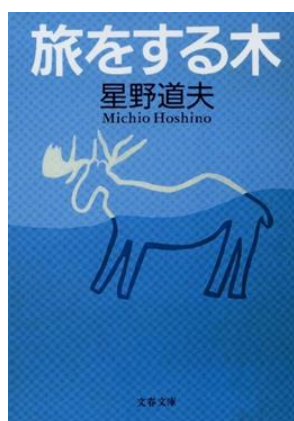
# むらさきの つうしん

テーマ：「世界のどこかで」

第31号



世界は雄大で神秘的。まだ行ったこともない未知の世界も、映像で見て知っている世界も、私  
たちをワクワクさせてくれます。あなたが行きたい場所、考えたいもの、みつけてください。



## 『旅をする木』

星野 道夫／著（文春文庫 1999）

アラスカの自然と、そこに生きる人々や動物たちの姿を描いた、写真家・星野道夫のエッセイです。遠いアラスカの地の、雄大な自然の中に流れている静かな時間が、心にそっと触れてくるようです。忙しい日常から少し離れて、世界のどこかで流れている「別の時間」に出会うことができます。一冊です。



## 『チョコレートを食べたことがない カカオ農園の子どもに きみはチョコレートをあげるか？』

木下 理仁／著（旬報社 2024）

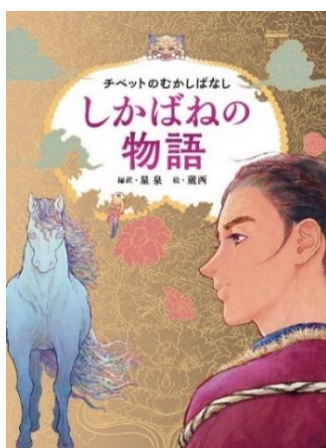
この長いタイトルの他にも、国際協力や多文化共生について話し合いをする中高生のワークショップをまとめた本です。自分ならどうするか考え、他の人の意見を聞くことで正解は1つではなく、思いもよらなかった答えが見えることもあります。世界を知るために、まずはこの本でワークショップに参加してみませんか。



## 『スティーヴ・マッカリーの「読む時間」』

スティーヴ・マッカリー／著 渡辺 滋人／訳  
(創元社 2017)

世界のどこかでだれかが読書している瞬間を撮った写真集。ゾウと寄り添うようにして大きな岩に腰かけて読書にふける青年、道で新聞を読む香港の男性の足、スペインの落書きのある壁の前で本を読む、体中にタトゥーを入れた若い女性など。今、ここではない別の場所で「読んでいる時間」を過ごす遠くの仲間を、静かに感じられる本です。



## 『しかばねの物語 チベットのむかしばなし』

星 泉／編訳 蔵西／絵 (のら書店 2023)

デチュー・サンボが命じられたのは、幸いをもたらすしかばねを持って帰ってくること。しかも、道中、ことばを発してはいけない。旅の間、口をきかない彼に、しかばねは物語を話して聞かせるのだが…。

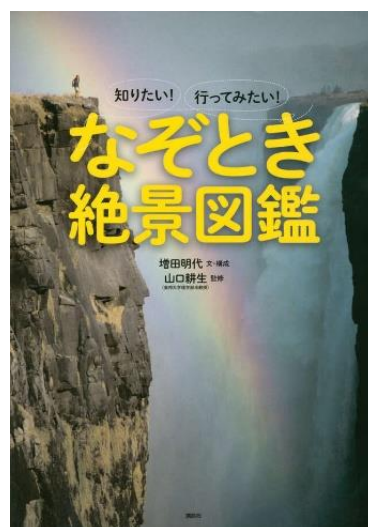
チベットで語りつがれてきた、いろいろなお話。興味を持ったら、チベットのことや世界のむかしばなしについて、調べてみてね。



## 『新種発見物語 足元から深海まで 11人の研究者が行く！』

島野 智之・脇 司／編著 (岩波書店 2023)

生き物の新種ってどこにいますか。ジャングルの奥地、はたまた深海の暗闇の中でしょうか。数々の新種発見エピソードを通して研究者の地道な努力や飽くなき熱意を知り、「研究」をより身近なものと感じてもらえればいいなと思います。さあ、出発しましょう。世界のどこかのまだ見ぬ新しい種と出会いに…。



## 『知りたい！行ってみたい！ なぞとき絶景図鑑』

増田 明代／文・構成 (講談社 2022)

世界の絶景がこんな場所に！なぜこんな不思議な風景になっているの？世界のあちこちの美しい光景や驚きの絶景が写真で紹介され、その光景の謎が解説されています。

現地へ今は行けなくてもこの一冊で十分楽しむことができそうです。でも可能なら行ってみたいくなる場所ばかり。是非とも出かけてみたいものです。地球が作った奇跡の光景を堪能してください。





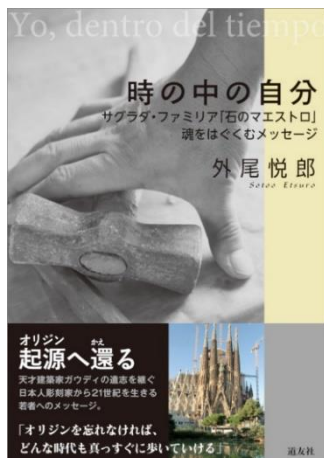
『**チャンス** はてしない戦争をのがれて』  
ユリ・シュルヴィッツ／作 原田 勝／訳  
(小学館 2022)

ユダヤ人の絵本作家の著者は、4歳の時に戦争に巻き込まれ、家族で各地を転々として飢えや貧困に苦しみます。戦争が終わっても帰る場所はなく、どこへ行っても嫌がられてしまいます。今もなお、世界のどこかでは戦争によって家と故郷を失い、同じように苦しんでいる人がいるということを、改めて考えさせられる一冊です。



『**世界のお菓子図鑑**』  
地球の歩き方編集室／編集  
(地球の歩き方 2022)

ドイツのお菓子、バウムクーヘンの原形はリトアニアのトゲトゲのお菓子、シャコティスだった？！皆さんご存じ『地球の歩き方』シリーズから世界のどこかで食べられているお菓子が大集合！全カラーで 113 の国、地域の美味しそうなおやつをご紹介します。海外だけでなく、日本全国のご当地お菓子が載っているのも嬉しいところ♪



『**時の中の自分** サグラダ・ファミリア  
「石のマエストロ」魂をはぐくむメッセージ』  
外尾 悦郎／著 (道友社 2022)

サグラダ・ファミリアの主任彫刻家である筆者が、大学での講演をもとに加筆した本。残された数少ない資料を手がかりに、ガウディの大聖堂建築の理念や装飾一つ一つの意匠に込めた思いを問い続けながら格闘してきた筆者の 40 数年の歩みが語られます。学生たちに向けて発せられる人生のメッセージが胸に突き刺さる一冊です。



『**どこでもない場所**  
— I CAN IMAGINE A PLACE —』  
セーラ・L・トムソン／文  
ロブ・ゴンサルヴェス／絵  
金原 瑞人／訳 (ほるぷ出版 2010)

ここでもあそこでもない、不思議な場所。想像力を膨らませたイラストに幻想的な詩がちりばめられている。不思議な感覚。この世とは違う奇妙な世界に導かれ、異世界へと引きずり込まれる。理性では迷ってしまう光景だが、感性を研ぎ澄ませて味わってみたいくなる作品です。

# お知らせ

中高生

あなたの推し本、みんなに読んでほしい本を、  
あなたの思いを込めてPOPにしてください！

## POP でビブリオバトル 作品大募集！

- 募集期間 10/20(月)～11/30(日)
- 作品サイズ A5サイズ以内(148mm×210mm)・用紙・画材は自由
- 応募方法 応募用紙をつけて北図書館カウンターまでお持ちください。

図書館でいう【POP(ポップ)】とは、  
オススメしたい本を紹介するための  
メッセージカードのことです。  
自由な発想の作品をお待ちしています！

作品例



### 京都市北図書館



北図書館  
公式マスコットキャラクター  
にゃん丸

〒603-8214

京都市北区紫野雲林院町 44-1

TEL 075-492-8810

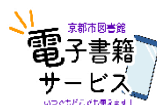
開館時間 平日 9:30～19:00

土日祝 9:30～17:00

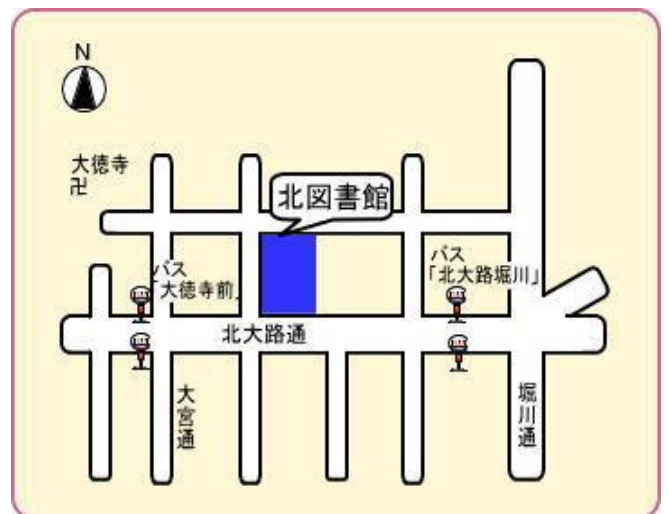
休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

URL <http://www2.kyotocitylib.jp>

(公財)京都市生涯学習振興財団



いつでもどこでも読めます！



★京都市図書館で本を借りるときは図書館カードが必要です。カードの発行には、  
住所、氏名を確認できるものが必要です。